

講義名	卒業研究（経）				
講義コード	14407	授業形態		開講期・曜日・時限	通年 月曜日 4 時限
担当教員	羽森 直子			サンパリング・コード	

学部・学科	演習分野
経済学部（経済学科、経済情報学科）	金融論

概要説明

皆さんもニュースなどで「経済」や「金融」などの言葉を耳にしない日はないくらいだろうと思う。当ゼミでは、日本経済や、経済学の中の「金融論」という分野についての知識を深めること、「書く・話す（プレゼン力）・聞く」というオールラウンドな力を高めること、の2点を目標とし、本学部のディプロマ・ポリシーである経済学の知識を幅広く修得し、総合的考察のできる人材育成を目指す。以下、それぞれの年次での概要を述べる。

2年次：教科書の発表、3分間スピーチ、ニュース時事能力検定試験（N検）の問題演習等、長期休暇中の宿題から構成される。では、教科書の担当箇所について、順番に報告をし、質疑応答を行う。その際、必ず要点をまとめたレジュメを作成し、全員に配布すること。教科書は、モーガン・ハウセル「サイコロジー・オブ・マネー」（ダイヤモンド社）を使用する。については、与えられたテーマについて3分間スピーチを順番に実施する。については、長期休暇中は新聞記事の要約などのレポート課題が課される。

3年次：前期は、2年次と同様のスタイルで展開するが、司会・運営はゼミ幹事（学生2名程度）が行う。教科書は、引き続きジョージ・S・クレイソン「パビロンの大富豪」（グスコー出版）を使用する。3年から当ゼミを受講する人は、4月第1回目のゼミまでに必ず購入しておくこと。後期は、卒業論文に関する研究発表を開始する。卒業論文のテーマの決定に関しては、基本的にゼミ生の自由意思が尊重される。3年次も、3分間スピーチは継続して実施する。工場見学など校外学習、茶話会も実施予定である。

4年次：各自の卒業論文について研究発表を行い、論文の作成にあたる。

なお、当ゼミでは6月と11月に実施される「ニュース時事能力検定試験（N検）」を受験することを推奨している。

主な卒業論文のタイトル

卒業論文のテーマは、基本自由です。

電子マネーの現状とその将来像、EU通貨統合、日本版金融ビッグバン、日本の税制問題、クレジットカード会社について、中国に進出する日系企業について、新興市場における資金の流れ、プロ野球の経済効果と地域への影響、市民マラソン大会の経済効果、日本の公的年金制度、石油問題について、トヨタに学べの信憑性、言葉による意思伝達の不完全性、ガス業界の展望、プロ野球球団の経営戦略、ユニクロの経営戦略、パチンコ業界の知られざる裏側と問題点、Googleが支配する世界、道路交通制度の歴史、サッカー日本代表の軌跡と戦略、あんぱんの今と昔、ゲーム業界の企業戦略、色彩とマーケティング、ビットコインについて、スポーツの経済効果、オタクと経済、基本無料ゲームの課金戦略、日本人がiPhoneを保有する理由、コンビニエンスストアにおける陳列効果、飲食業界の新型コロナ禍による影響と展望 など

教員よりの要望

無断欠席は禁止します。出欠チェックは厳しく行います。

ゼミでは恥ずかしがらずにどんどん発言し、積極的に参加してください。当ゼミでは、無言で90分やり過ごすことは許されません。

ゼミでの事務連絡は基本的にメールで行います。最近、LINEのチェックは怠らないが、それ以外のスマホやPCアドレス宛のメールをチェックしない学生が急増しています。いずれ就職活動では企業との連絡で使用するアドレスかと思しますので、今のうちから1日1回はチェックする習慣をつけておいてください。

とまあ、いろいろと書きましたが、最低限の約束が守れて、やる気と元気があって、そして経済や社会の動きに少しでも関心のある方ならどなたでも大歓迎です。

選考方法

研究演習：以下の手順で行います。まずは、ゼミの個別ガイダンスに必ず出席してください。出欠をチェックしています。→選考は、書類審査のみによって行います。→演習申込書には成績表（コピー可）を必ず添付してください。成績表を添付していない場合は、書類不備で不合格になります。→申込書の内容と成績から総合的に判断します。ぜひ、皆さんの当ゼミへの熱い思いを大いに書いてください。

研究演習：研究演習の成績がC、D判定の学生は、研究演習の履修を認めません。他ゼミから当ゼミへの移籍を希望する場合は、研究演習の成績がB判定以上であることを条件とし、面接と書類審査によって選考します。所定の申請用紙に、成績表（コピー可）を必ず添付してください。

評価方法	
研究演習：出席状況を含めた平常点、報告内容、レポートなど課題に基づいて評価します。ただし、欠席が授業回数の3分の1以上に達した場合は、研究演習の単位取得を認めません。	
卒業研究：出席状況を含めた平常点、報告内容、卒業論文に基づいて評価します。ただし、卒業論文を提出しない場合は、卒業研究の単位取得を認めません。	

教員英字氏名	研究室
Naoko HAMORI	研究棟 2714研究室

最終学歴
神戸大学大学院 経済学研究科博士後期課程

学位
博士（経済学）

主な研究活動・社会活動・研究業績
著書： 『Introduction of the Euro and the Monetary Policy of the European Central Bank』with S.Hamori, World Scientific Publishing 2009. 『ドイツの金融システムと金融政策』（1998年中央経済社） 『欧州中央銀行の金融政策』（2002年中央経済社）等 論文： 『スウェーデンにおける中央銀行デジタル通貨発行に向けての取り組み』（2023年流通科学大学論集第31巻第2号） 『中央銀行デジタル通貨の基本的特性と実証実験—中国、スウェーデン、カンボジアのケース—』（2022年流通科学大学論集第30巻第2号） 『中央銀行デジタル通貨の背景と影響について』（2021年流通科学大学論集第29巻第2号） 『ドイツにおける社会的市場経済の生い立ち』（2019年同志社商学第70巻第6号） 『ドイツ経済の構造変化とユーロ危機に関する分析』（2019年生命保険に関する調査研究報告書No29 かんぽ財団） 『ドイツ労働市場改革の功罪』（2017年流通科学大学論集第26巻第1号） 『ドイツ経済の構造変化とユーロ危機』（2018年流通科学大学論集第26巻第2号） 『ドイツポストバンクとゆうちょ銀行の違い』（2016年月刊金融ジャーナル2月号） 『ギリシャ債務危機に関する分析』（2016年流通科学大学論集第24巻第2号） 『欧州中央銀行のユーロ危機対策』（2015年流通科学大学論集第23巻第2号） 『ユーロ危機の原因』（2013年流通科学大学論集第22巻第1号） 『ドイツの銀行構造について』（2012年流通科学大学論集第20巻第2号） 『ドイツの金融システムを構成しているものは何か？』（2011年流通科学大学論集第19巻第2号） 『ユーロ地域の拡大の現状と展望』（2009年流通科学大学論集第18巻第1号）

趣味・特技
趣味：ダイビング（ライセンスは持っていますが、初級者レベルです）・スノーケリング（南の海でさんご礁やお魚を見ながらブカブカ浮いているのが好きです）。水泳（体型的に浮きやすいので、距離ならいくらでも??）、ボウリング（ガターにはならない程度）、読書（愛読書は児童書・絵本と日経サイエンスです）。洋裁（お友達に無理やり？誘われて始めました。ぶきっちょなので、ミシンに向かうと頭の中が真っ白になります）、編み物（いい先生に恵まれて、ぼちぼちやっています）、コスプレ（英語の歌詞を覚えるのに四苦八苦しています）、散歩（非常事態宣言下に始め、週末は10kmほど歩く時もあります）
特技：どこでも眠れること、1年中食欲が落ちないこと

所属
経済学部 経済学科

所属学会
日本金融学会

専門分野
金融論、国際金融論

担当科目
教養特講（経済学科・経済情報学科へのいざない）、金融論、金融政策論、国際金融論、経済特別演習、公務員特別演習、専門基礎演習、研究演習、研究演習、卒業研究、大学院科目

備考
ゼミの画像はいじくごさいませんので、ゼミ生からのメッセージを紹介します。ゼミの雰囲気を理解していただく一助になれば幸いです。 上のゼミは本を読むことを重視しているため、本好きな人にはとてもお勧めのゼミです。またスピーチも行われているので、人前で話すのが苦手な方はぜひこのゼミに入って練習してみてください。（3回生E5）
・人前で話す機会が多いので、話すのが得意な人も苦手な人にもおすすめゼミです。（3回生R0）
・教科書を使って、一人ずつ担当のページが割り当てられ、発表をするという形式です。教科書の内容はそれほど難しくないので、敷居は低いと思います。また、発表後にグループディスカッションをする時間があり、ゼミの仲間と親睦を深めることができます。落ち着いた雰囲気のゼミが好きな方にはお勧めです。（3回生田中）

実務経験の有無及び活用